

★評価基準(平均2.5)
 ・教職員・保護者 4:よくあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない (0:わからない)
 ・児童 4:はい 3:どちらかというとはい 2:どちらかというといいえ 1:いいえ

項目	No	内容	評価	
1 子ども同士の関わり合いを深める学級経営	1	実践目標	学校教育目標を共通理解して学級経営方針を立てる。	3.50
		保護者評価	本校の教育目標やめざす子ども像は理解できる。 教育目標:「共に学び、夢に挑む自立した子どもの育成」 めざす子ども像:【自ら学びよく考えて行動できる子】【豊かな心で自分も他者も大切にできる子】 【明るく健康でたくましく生きる子】 ~子ども同士の関わり合いを通して~	3.62
		児童評価	めあてをもって生活することができていますか。	3.22
		成果	学校教育目標を理解し、学級経営計画に基づいて学級経営を行った。また、教職員全員で全校生にかかわることができた。	
		課題と改善の方向性	実態に応じた取組を明文化したり学級経営案を活用したりして、より共通理解を図りながら、チームとして児童一人一人に寄り添っていく。	
	2	実践目標	特別支援教育や人権教育の視点を大切にし、子どもの特性と気持ちに寄り添う。	3.11
		保護者評価	学校は、子どもの気持ちに寄り添って接している。	3.39
		児童評価	学校は、楽しいですか。	3.32
			クラスで安心して過ごさせていますか。	3.57
		成果	特別支援教育や人権教育の視点で、児童理解を図り、個別支援を行うことができた。また、その情報共有をもとに全職員で全校生を見守ることができている。	
	課題と改善の方向性	教職員の人権意識をさらに高めるような研修を継続して行うとともに、今後も児童に寄り添った教育活動の充実に努める。		
	3	実践目標	学級経営方針に沿って、中長期に渡る意図的、計画的な学級づくりを進める。	3.13
		保護者評価	学校は、行事(全校キャンプ、運動会、学習発表会等)を工夫し、特色ある学校づくりに努めている。	3.81
		児童評価	学級目標は、達成できていると思いますか。	3.35
成果		新たな視点で教育活動を見直し、多様な方策をとりながら創意工夫して実践することができた。		
課題と改善の方向性		学級経営計画を節目ごとに評価と見直しを行い、必要に応じて修正するとともに、教職員で共有化する。		
2 自分の考えを持つ授業づくり	4	実践目標	子どもの疑問をもとに、学習課題に取り組めるようにする。	3.13
		保護者評価	子どもは、自分の意見を持つように努力している。	3.03
		児童評価	授業の中で自分の考えをつくったり、書いたり、発表したりすることは、楽しいですか。	3.32
			授業の中で自分で考え、ノートに書いたり発表したりしていますか。	3.54
		成果	自分の考えをもって、授業に参加できるようになっていっている。	
	課題と改善の方向性	1人では自分の考えをもつことが苦手な児童も多くいるため、個々の実態に即した支援をさらに充実させていく。		
	5	実践目標	子どもが自ら考え、自己をふり返る時間を確保する。(はじめとおわりのひとり学び)	2.75
		保護者評価	学校は、子どもが進んで課題に取り組めるように、教材を工夫したり、ICT機器を活用したりするなど、学習意欲を高める授業づくりに努めている。	3.41
		児童評価	どんな勉強をするのか、楽しみなことがありますか。	3.22
			学習のめあてを読んで、どんな学習をするのか分かりますか。	3.49
		成果	はじめのひとり学びでは、めあてに対して自分の考えがもてるように支援をすることができている。	
	課題と改善の方向性	おわりのひとり学びで考えを深めさせる時間を確保できていないことも多いため、授業の展開を工夫していく。		
	6	実践目標	朝の話と教科学習のつながりを意識し、子ども同士が関わり合い対話のある授業づくりを行う。	3.00
		保護者評価	学校は、子ども同士が意見交流するなど、対話のある授業づくりに努めている。	3.44
児童評価		友達と意見交流しながら勉強することは、楽しいですか。	3.57	
		友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができていますか。	3.68	
成果		朝の話の学びを生かす教科学習に継続的に取り組んだことで、対話のある授業づくりができている。		
課題と改善の方向性	少人数のよさを生かしながら、自分の考えを書いたり、発表したりすることにさらに慣れさせ、対話を通して主体的に学ぼうとする態度を育成していく。			

項目	No	内容	評価	
3 自分で考えて行動する力【自立】	7	実践目標	決めたことを最後までやり抜ける子どもを育てる。	3.11
		保護者評価	学校は、様々なことを自分で考え、最後までやり抜く子どもの育成に努めている。	3.46
			保護者は、子どもができることは、子ども自身でやらせるようにしている。	3.31
		児童評価	勉強や運動で、自分のめあてを決めて取り組んでいますか。	3.16
			めあてを達成するために、あきらめずに取り組んでいますか。	3.46
		成果	学期や行事ごとに目標をもたせて意識させながら取り組ませることができた。	
	課題と改善の方向性	児童の実態によっては適切な支援を行いつつ、発達段階に応じて支援を減らし、自分の力で最後までやり遂げた経験を積ませていく。		
	8	実践目標	自他の良さを知り、自分や学級、学校をよりよくしようとする態度を育てる。	3.11
		保護者評価	子どもは、自分の良さに気づいている。	2.88
			子どもは、友だちの頑張りなどの話をよくするなど友達の良さに気づいている。	3.37
		児童評価	自分や友達のよさに気づき、学級や学校をよりよくしようと努力していますか。	3.30
		成果	学級や縦割り班活動の中で、友達に助けを求め経験をすることで、友達のよさを感じながら共に成長しようと努力している。	
		課題と改善の方向性	学級や縦割り班活動の中で、個々の児童の活躍の場を保障することで、児童一人一人が自分のよさに気づき、自己肯定感を高めていけるよう引き続き取り組んでいく。	
	9	実践目標	生活ルールを守って、気持ちのよい行動ができる子どもを育てる。	2.89
			自分の生活を客観的に見つめ、自律的に生活できる子どもを育てる。	2.56
		保護者評価	学校は、自律的に生活できる子を育てるとともに、いじめを許さない風土づくりに努めている。	3.51
			子どもは、時間や期限を守っている。	3.00
			子どもは、周囲に流されずに物事の善し悪しを判断している。	2.92
			保護者は、人に迷惑をかけないことや善悪の判断、あきらめずに頑張ることの大切さ等、道徳的なことについて機会あるごとに話をしている。	3.43
			家庭は、ゲームやインターネットの使い方についてルールを決めている。	2.97
			子どもは、思いやりの心が育っている。	3.31
		児童評価	子どもは、元気なあいさつをしている。	3.31
			子どもは、時や場に応じた言葉遣いをしている。	3.00
			相手の気持ちを考えて、話したり行動したりしていますか。	3.41
			人に迷惑をかけずに、ルールを守って生活していますか。	3.32
成果	高学年を中心とした自治的・集団的活動を通して、自分の生活を見つめ振り返ることで、思いやりの心や支え合うことの大切さに気づくとともに自律的な生活を送れるようになってきた。			
課題と改善の方向性	児童の規範意識は高いものの、自己中心的な態度もまだまだ見られるため、自分を見つめる場を確保するため、立ち止まって考える時間を保障していく。			
10	実践目標	仲間と共に体を動かすことを楽しむ子どもを育てる。	3.22	
	保護者評価	子どもは、よく遊んだり運動したりしたくましく育っている。	3.43	
	児童評価	外遊びや運動など、体を動かすことは、好きですか。	3.59	
	成果	縦割り班活動や米田カップを通して、友達と体を動かすことを楽しんでいる。		
	課題と改善の方向性	休み時間の確保に努めるとともに、自由な集団での外遊びをさらに推奨していく。		
4 子どもの学びを支える環境づくり	11	実践目標	読書に親しむ子どもを育てる。	2.56
		保護者評価	子どもは、家で読書をしている。	2.28
		児童評価	読書は好きですか。	3.00
			読書をよくしていますか。	2.70
		成果	なかよし読書や読み聞かせ会などにより、本と出会う場を確保することができた。	
	課題と改善の方向性	読書への興味関心を高めるため、教室内などすぐに手が届く場所に本を準備するなど、読書環境を整えとともに、読み聞かせなどの機会を充実させていく。		
	12	実践目標	時期に応じた掲示物、学びの足跡が見える掲示物、整理整頓された室内など、学びが深められる環境づくりを行う。	3.00
		保護者評価	学校は、時期に応じた掲示物等を工夫したり、普段の掃除や施設の補修など学習環境整備や環境づくりに努めたりしている。	3.64
		児童評価	校内の掲示物をよく見えていますか。	3.19
			自分の身のまわりやみんなの使うところを整理整頓していますか。	3.24
		成果	興味をもって掲示物を見ている児童が多く、目標意識をもったり、意欲喚起になったりしている。	
課題と改善の方向性	多様な学びの場として、学習で活用したものを効果的に掲示したり、知的好奇心をくすぐる掲示を行うことで、校内の学習環境整備を図っていく。			

項目	No	内容	評価	
5 家庭や地域に信頼される学校	13	実践目標	各種通信やHP、学校オープンにより、保護者や地域に学校情報を積極的に発信する。	3.22
		保護者評価	学校は、学校だよりやHP等を通じて、学校の様子をわかりやすく伝えようとしている。	3.47
		児童評価		
		成果	学校オープンへの保護者や地域住民の参加は多く、その都度のアンケート結果も概ね良好な評価である。	
		課題と改善の方向性	学校からの積極的な情報発信に引き続き取り組むとともに、保護者地域連絡ツール(テトル)のさらなる活用を図っていく。	
	14	実践目標	学校の教育活動を円滑に進めるため、保護者との連絡を密に行い、共通理解を図る。	3.22
		保護者評価	学校は、保護者の悩みや相談に応えようとしている。	3.39
		児童評価		
		成果	連絡帳や面談など、こまめなやり取りを通して悩みを把握し、児童や保護者とともに解決に向かうことができた。	
		課題と改善の方向性	保護者との日常的なコミュニケーションを大切にするとともに、親身で丁寧な対応を通して信頼関係をさらに深め、連携できる体制づくりを進める。	
	15	実践目標	授業や行事などで地域や外部人材と連携するとともに、子どもの感謝する心を育む。	3.56
		保護者評価	学校は、地域や外部機関など、多様な方々と協力しながら学校教育を進めようとしている。	3.73
		児童評価	地域などのゲストティーチャーの方との関わりは、楽しいですか。	3.38
			地域の人にあいさつをしていますか。	3.73
			地域の人にお世話になっていると感じることがありますか。	3.70
成果		教科書を活用しての授業だけでは得られない知識や技能などを学ぶことができた。		
課題と改善の方向性	活動の振り返りを重視し、お礼の手紙の作成など、お世話になっていることに気づくための活動を取り入れる。			
6 勤務時間の適正化	16	実践目標	「夕打ち合わせ」の実施や協議事項の焦点化により、会議時間の短縮を図る。	3.11
		保護者評価		
		児童評価		
		成果	「夕打ち合わせ」により、その日のうちに周知したい児童のことについて、共通理解することができた。	
		課題と改善の方向性	職員の情報共有を引き続き図っていくとともに、職員会議前の「夕打ち合わせ」を有効活用し、会議での協議時間の短縮と内容の充実を進めていく。	
	17	実践目標	自身の健康や子どもと向き合う時間の確保のため、見通しを持って効率的に職務を遂行する。	2.56
		保護者評価		
		児童評価	先生は、自分の話をよく聞いてくれたり、一緒に遊んだりしてくれますか。	3.49
		成果	ICT機器の活用と見通しを立てて職務を遂行することで、校務処理の時間短縮が進んできている。	
		課題と改善の方向性	優先順位や仕事の段取りを常に意識し、より一層効率的に職務を遂行していく。	
7 安全・安心な学校づくり	18	実践目標	危機管理意識を高く持ち、常に子どもの安全に配慮した安全・安心な学校づくりをめざす。	3.00
		保護者評価	学校は、子どもの学校内外での安全確保に努めている。	3.58
			子どもは、安全に気をつけて、登下校している。	3.36
		児童評価	危険なところに気をつけて、通学していますか。	3.84
		成果	実地訓練による避難・救急体制の検証や不審者対応のマニュアル改訂などは大変有効であった。	
課題と改善の方向性	リスクマネジメントをさらに進めるとともに、児童数減少に伴う下校時等の安全確保についての検討を行う。			